

令和 3 年

第 4 回 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

令和 3 年 4 月 8 日

水 戸 市 教 育 委 員 会

令和3年第4回教育委員会定例会

1 開催日時 令和3年4月8日(木) 午後5時00分 開会
午後5時22分 閉会

2 開催場所 水戸市役所 4階 中会議室4

3 出席者 教育長 志田 晴美
委員 東小川 昌夫 (教育長職務代理者)
委員 富田 教代
委員 篠崎 和則
委員 丸山 陽子

4 欠席者 委員 なし

5 説明のため出席した職員の職、氏名

教育部長	増子 孝 伸
総合教育研究所長	春原 孝 政
参事(県費負担教職員担当)	橋 義 孝
参事(学校施設整備担当)	菊池 浩 康
参事兼教育企画課長	三宅 修
学校管理課長	細谷 康 之
学校保健給食課長	小川 佐栄子
幼児教育課長	松本 崇
学校施設課長	和田 英 嗣
生涯学習課長	湯澤 康 一
歴史文化財課長	小川 邦 明
放課後児童課長	大和 敦 子
中央図書館長	林 栄 一
教育研究課長	野澤 昌 永

6 傍聴人 なし

7 本日の日程

(1) 報告

① 令和3年第1回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について【公開】

8 会議の概要

午後5時00分 開会

○志田教育長 ただいまから、令和3年第4回教育委員会定例会を開会いたします。

それでは、初めに、令和3年4月1日付けをもちまして、人事異動がありました職員について、自己紹介をお願いします。

○松本幼児教育課長 このたびの人事異動で、幼児教育課長を拝命いたしました松本崇と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

○湯澤生涯学習課長 このたびの人事異動で、生涯学習課長を拝命いたしました湯澤康一と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

○小川歴史文化財課長 このたびの人事異動で、歴史文化財課長兼世界遺産推進室長を拝命いたしました小川邦明と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

○林中央図書館長 このたびの人事異動で、中央図書館長を拝命いたしました林栄一と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

○野澤教育研究課長 このたびの人事異動で、教育研究課長を拝命いたしました野澤昌永と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

○志田教育長 以上で、自己紹介は終わります。

それでは、これより報告に入ります。

報告(1) 令和3年第1回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について、説明願ひます。

増子教育部長。

○増子教育部長 資料の1ページをお開き願ひます。

報告(1) 令和3年第1回水戸市議会定例会質問及び答弁内容等について、御説明いたします。

初めに、1の会期でございますが、令和3年3月8日から24日までの17日間でございます。

2の本会議の状況につきましては、5会派、4議員から発言通告がございました。

次に、質問及び答弁内容についてですが、学校教育部門では、学びの保障と生きる力の育成についての質問や少人数指導、教職員の働き方改革、発達性読み書き障害など、9項目12件、社会教育部門では、笠原水源と笠原不動尊についての質問やコロナ禍における青少年育成推進活動についてなど、3項目3件、子育て支援部門では、市立幼稚園の再編や保育料の軽減についての質問がございました。

また、教育委員会が所管する事業の民間委託等についての質問もございました。

主なものについて御説明させていただきます。

5ページをお開き願ひます。

ウの学校行事や部活動についての御質問に対しましては、本年度は、生徒が楽しみにしていた修学旅行や船中泊を伴う自然教室がともに中止となりましたが、オンライン修学旅行やテーブルマナー講習会、鬼怒川でのラフティング体験、那須ハイランドパークでの職場体験を含めた校外学習など、各学校において代替行事を実施してきたことや、令和3年度につきましても、やむを得ず船中泊を伴う自然教室は中止といたしますが、宿泊を伴う自然体験学習などの代替行事の実施に向けて、市学校長会と協議を進めるとともに、修学旅行については、感染症対策を十分に講じた上で実施する予定としていることなどについて答弁しております。

続いて、9ページをお開き願ひます。

教職員の働き方改革と時間外勤務の縮減への対応についての御質問に対しましては、これまで教職員の業務負担の軽減を目的として、学校給食費の公会計化や校務支援システムの全校導入など、事務の軽減や作業の効率化を図ってきたことや、さらに、タイムレコーダーの全校導入や学校閉庁日の設定などに取り組んでいること、月80時間を超える教職員の割合について、1年で最も多くなる6月において、平成29年度は約32%、令和元年度は約22%となり、令和2年度は約11%まで減少したことなどについて答弁しております。

また、令和2年度に新たに水戸市教育施策推進協議会を設置し、水戸市教職員の働き方改革基本方針を策定したことや、令和3年度の主な取組といたしましては、勤務時間外の緊急を要しない電話対応に係る教職員の負担を軽減するため、自動音声応答装置の導入に向けた準備を進めていることや、児童生徒間のトラブルや保護者対応などについて、学校長が弁護士に気軽に直接相談することができる学校弁護士相談事業に係る予算を本議会に提案していることなどについて答弁しております。

続きまして、14ページをお開き願います。

教科書デジタル化についての御質問に対しましては、デジタル教科書は、その中に含まれている教材や問題集を活用し、予習復習を行うなど児童生徒一人一人に応じた使い方ができるようになりますが、一方で、児童生徒の視力の低下や書く時間の減少、思考力の低下、教員の活用技術の課題等が指摘されております。そのため、本市といたしましては、来年度、文部科学省が実施する全国的なデジタル教科書実証事業に積極的に参加しながら、その実証事業報告を踏まえるとともに、水戸市教育施策推進協議会などにおいて、実証事業に参加した教員をはじめ、PTAの代表者や大学教授等の専門家から広く意見を伺い、効果的な活用や課題について検証を進めていくことなどについて答弁しております。

続いて、18ページをお開き願います。

市立幼稚園の再編方針についての御質問に対しましては、令和2年度末に、飯富幼稚園、稲荷第二幼稚園の2園を廃止する一方で、石川幼稚園では4月から幼稚園型認定こども園に移行するとともに、昨年度末に廃止した五軒幼稚園については、子ども発達支援センターの分室として利活用し、就学前の児童を対象とする療育指導の専用施設とすることや、令和4年4月からは、浜田幼稚園、常磐幼稚園を幼稚園型認定こども園へ移行するとともに、緑岡幼稚園、酒門幼稚園では、3年保育を実施する方針としていることなどについて答弁しております。

21ページをお開き願います。

教育委員会が所管する事業の民間委託等についての御質問でございますが、開放学級や図書館は、直営で市が責任を負うべき事業ではないかの質問でございます。

図書館におきましては、指定管理者制度を導入後、開館時間の延長をはじめ、託児サービスなどが導入されており、利用者対象の満足度調査においても、9割を超える方々から肯定的な評価をいただいていることや、開放学級につきましては、民間委託の全市拡大を図り、待機児童ゼロの継続や一体的に委託する放課後子ども教室の実施回数の増加、学習支援の充実を図るとともに、全ての開放学級の開設時間を午後6時30分まで延長することなどについて答弁しております。

その他、詳細につきましては、後ほどお目通しをいただきたいと思います。

説明は、以上でございます。

○志田教育長 それでは、委員より御質問等がございましたら、発言願います。

東小川委員。

○東小川委員 初めて目にする言葉なのですが、17ページの発達性読み書き障害については、学習障害の一種なのでしょうけれども、発達性読み書き障害と思われる児童生徒は、水戸市には実際何名くらいいるのですか。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 発達性読み書き障害の児童生徒がどの程度いるかという御質問について、これまで学習障害に関する教室がありませんでしたので、正確に把握をすることは難しい状況にあります。

特に、発達性の読み書き障害というのは、学習障害の中の一つで、いわゆる国語的な読み書きや算数的な推論、計算など、どこか一部分に著しく困難を抱えているお子さんを総称して学習障害というのですが、その中の特に読み書きの部分に特化して困難があるお子さんを発達性ディスレクシアと呼びます。これまでは、通常の読み書き、計算が難しい場合は、特別支援学級や通常の学級等で、その児童生徒に応じた教育をしてきましたが、特別な指導を受けることができる通級指導教室ができましたので、一歩進んだ支援をしていくことが可能になったものと考えております。

○志田教育長 4月の開設はどうになりましたか。

春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 水戸市立浜田小学校に学習障害、注意欠如・多動症に係るLD・ADHD通級指導教室を開設いたしました。

○東小川委員 何人くらい通級しているのですか。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 スタート段階では2名が通級をしまして、そのほかにも希望している方がいらっしゃるということです。今後増えていくと考えております。

○志田教育長 県南地域や県西地域では、そのような教室は多いのですか。

春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 はい、多いですね。

○志田教育長 2学級ぐらい開設されているところがあるようですが、なかなか発達性読み書き障害かどうかの判定は難しいようです。

春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 専門医の方でもなかなか判断が難しいそうです。特に子どもに関しては、適切に診断していただける医療機関が少ないと伺っております。

○志田教育長 徐々に認定が進んでいけば、教育委員会としても、要望に応じて学級を増やしていきたいと考えております。

東小川委員。

○東小川委員 学習障害の通級指導教室は、本人と保護者が希望すれば入れる状況なのでしょうか。また、通級指導教室に入った中で発達性読み書き障害という診断がなされるのか、それとも、その前に、教育支援委員会で、学習障害の認定をした上で通級指導教室に通われるのですか。通級は、かなり幅広く捉えられているのですか。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 基本的には、特別支援教育になりますので、市の教育支援委員会の判定が必要になります。ただし、あくまでも、保護者または本人の意向が尊重されるべきだと思います。まして、通級指導教室ですので、希望していたのに、そこで学ぶことができないというようなケー

スは少ないと思っています。

○志田教育長 ほかにございませんか。

富田委員。

○富田委員 15ページ、16ページのデジタル教科書についてですが、特別支援学級の児童生徒も使うのでしょうか。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 国のほうで、今年度、学習者用のデジタル教科書実証事業を予定しております。本市においては、小、中、義務教育学校29校で実施し、小学校5、6年生、中学校1、2、3年生を対象に、学校ごとに1教科選択する方法になりますが、幅広い教科で実証できるように取り組んでいきたいと思っております。

○志田教育長 デジタル教科書については、様々な障害を持った児童生徒にとっても良い点があると感じているのですけれども、例えば、デジタル教科書については、新聞等にも、理解力が不足するとか、思考力が落ちるのではないかと、書く能力が落ちるのではないかと取り上げられていますけれども、そのようなことを水戸市教育施策推進協議会で、もちろん学校も含めて、課題に対してどのような対応や使い方をすれば解決するのかを、専門家の先生や、教育委員の皆様にも御意見をいただきたいと思っております。国のほうでは全てデジタル教科書でやりたいという考えがあるのでしようけれども、本市では慎重に扱っていかねばならないと考えております。教育の現場ですから、数年間は検証が必要なのではないかと考えております。

次の小学校教科書の改訂は2024年ですか。

春原総合教育研究所長

○春原総合教育研究所長 はい、そうです。

○志田教育長 そのときに合わせて文部科学省は全体的に導入したいと説明しておりますが、そんなに拙速にいかないのではないかと考えています。あと、丸山委員からも、以前の教育委員会で御意見があったように、デジタル教科書は、健康上の課題も取り上げられていますので、それらの議論を皆様としながら、良い方向に進めていきたいと思っております。

富田委員。

○富田委員 大きな改革ですね。

○志田教育長 そうですね。まだ1人1台端末を活用した授業も始まっていないのに、その上にデジタル教科書が始まってしまうので、現場の先生方の指導が大切になります。

篠崎委員。

○篠崎委員 5ページの学校行事のところ、新型コロナウイルスの影響により、船中泊をやむを得ず中止したというのは分かるのですが、理由として、同行する医師の確保が難しいことなど書いてありましたが、同行する医師の確保が難しいことがやはり一番の理由なのでしょうか、もし、それだけの理由であれば何とかならないのかなと思わなくもないのですが、いかがでしょうか。

○志田教育長 春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 同行する医師の確保が難しいことは、かなり大きなウェートの部分ではあるのですが、一番心配だった部分は、万が一、子どもたちが体調を崩してしまったときに、船でほぼ丸一日移動をしまして、かつ行き先が北海道になりますので、きちんとした医療が提供できるかという部分で、そちらを大きな理由の一つとして中止とさせていただきました。

○志田教育長 やはり保護者なども、陸であればすぐ病院に行くなどの対応ができますけれども、

船ですから、少し抵抗感があるようです。

春原総合教育研究所長。

○春原総合教育研究所長 もう1点は、船ですので、やはり部屋がかなり密になります。基本的には、一般の方も乗船しますので、一般の方との接点はできるだけ少なくするようなことはできるのですけれども、船の中の大部屋は基本的に間仕切りがありません。通常であれば、大部屋に入れる人数を定員以下に制限して運航しているそうなのですが、船中泊の場合、子どもたちを一度に運ぶため、大部屋に定員どおり子どもたちを乗せて行き来しなければならないような点も大きな理由の一つではあります。

○志田教育長 あとは、学校行事に関連して、修学旅行ですが、議会答弁をした時点では、実施する予定として答弁しておりますが、今は厳しい状況になってきたと思います。特に奈良などは非常に多くの感染者が出ています。まだ結論は出していませんけれども、5月の連休明けには判断しなければなりません。

丸山委員。

○丸山委員 私も、感染リスク回避という意味で、実施というよりは、中止の方向のプランを立てておいて、あとは感染状況によってプラスに方向転換をするのがいいのだろうという話をしてしまったのですけれども、やはり変異株とかいろいろ問題が出てきて、まだ先行き不透明な時期に、共同生活という、日常生活よりも感染リスクが上がってしまう集団行動をよしとするのはなかなか判断が難しいところなのかなと思います、今のような状況では見守るという方向がよろしいかと思います。

○志田教育長 変異株によって、どのようになるのか予測もつかなくなっていますが、今の中学3年生は船中泊も去年中止し、今年も修学旅行が中止になってしまうため、もし仮に修学旅行が中止の場合でも、できれば学校としては、秋口に近場に行って宿泊等をさせたいという意向はもちろんあります。

東小川委員。

○東小川委員 船中泊に続けて修学旅行も中止になる学年なんですね。

○志田教育長 学校も保護者も、子どもたちはもちろんですけれども、やりたい気持ちがあるのですが、かなり厳しい状態になってきたのかなという感じがしています。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようでございますので、この件について終わります。

以上をもちまして、本日の案件につきましては、全て終了いたしました。

その他、何かございますか。

三宅参事兼教育企画課長。

○三宅参事兼教育企画課長 それでは、お手元に配布しております次回以降の教育委員会会議等日程（案）について、御説明をいたします。

ゴシック体となっている部分が、今回追加した日程でございます。

表の一番下、第7回定例会は、7月1日木曜日午後5時から、本日と同じ中会議室4で開催の予定です。

また、表の欄外になりますけれども、令和3年度茨城県及び関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会につきましては、いずれも書面での決議を行うということとなりまして、会場での開催はなくなりましたのでお知らせをいたします。

説明は、以上でございます。

○志田教育長 その他、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○志田教育長 ないようでございますので、それでは、以上をもちまして、本日の定例会を閉会いたします。

御苦勞様でした。

午後5時22分 閉会